

公益財団法人長岡京市スポーツ協会 令和6年度事業計画書

I 基本方針

当協会は、長岡京市におけるスポーツの推進に関する事業を行い、市民が自発的にスポーツに取り組めるよう努めるとともに、健康で豊かな市民生活の形成に寄与することを目的にしています。

長岡京市の健康文化都市宣言を尊重し、「あんたもスポーツ心を！」をスローガンに、スポーツを通じて誰もが幸福で豊かな生活を営むことのできる社会の創出とスポーツの意義や価値が広く市民に共有され、より多くの市民がスポーツの楽しさや感動を分かち互いに支え合う「新たなスポーツ文化」の確立を目指して諸事業を推進すると共に、スポーツを通して行われる次世代の豊かな社会づくりに向けて、スポーツの力でSDGsの達成を目指していきます。

また、令和6年度は「スポーツによる持続可能なまちづくり」を念頭に、本来スポーツの持つ力を多角的な視点から捉え、新しい価値を創造していくため、関係機関や団体をはじめ新たに様々な分野と連携を図りながら、長岡京市スポーツ推進計画の基本理念に基づいて、4つの柱を基軸にして諸事業を積極的に実施していきます。

事業実施にあたっては、PDCAサイクル「Plan(計画)→Do(実行)→Check(評価)→Act(改善)」の機能を果たすことによって、より効果的・効率的な運営に努めていきます。

※「生涯スポーツ社会の実現へ向けた4つの柱」

1) 子どもスポーツの充実

- ・生涯スポーツ・競技スポーツの基礎となる子ども期（幼児期を含む）のスポーツを盛んにする
- ・スポーツ少年団・学校体育連盟の連携による子どもスポーツの充実を目指す

2) 生涯スポーツの普及

- ・一人でも多くの方がスポーツに関わり、楽しむ環境づくりを目指す
- ・地域に根ざした総合型地域スポーツクラブの育成定着を推進する

3) 競技スポーツの振興

- ・技と力と心を極め、夢と感動と勇気を与える優れた選手の育成を目指す
- ・府民総合体育大会市町村対抗大会での上位入賞と各競技種目の振興を目指す

4) スポーツ施設の整備・活用

- ・スポーツ推進の基盤となるスポーツ施設の有効利用を目指す
- ・公共スポーツ施設の指定管理者として、サービス向上と経費縮減に努める

II 事業計画

1. 子どもスポーツの充実事業

1) 長岡京市スポーツ少年団育成支援

スポーツを通じた青少年の健全育成を目標に活動しているスポーツ少年団の活動をより一層促進するために、次の事業を育成支援する。

- (1) 単位団交流事業開催
- (2) 小学生スポーツ体験教室開催(1日(春期・冬期))、市内4中学校)

- (3) 指導者研修会開催
- (4) 種目別交歓大会支援(名称変更)
- (5) 研修会等参加奨励
- (6) 単位団活性化活動支援
- (7) ジュニア・リーダー育成活動支援
- (8) マーチングバンドスポーツ少年団活動支援

2) 幼児期のスポーツ環境整備事業

子どもの体力向上を目指して、幼児期に多様な動きを身につけられ定着することができる環境整備を目的に運動遊び教室「遊ぼう!キッズ!!」を開催する。

- ・「遊ぼう!キッズ!!」校区モデル事業の普及拡大
- ・ACP普及促進講習会及びプレイリーダーとプレイサポーターを担う人材の発掘と養成

3) 長岡京市学校体育連盟活動支援

児童・生徒の体力や運動能力の向上を目指すため、小学校体育連盟及び中学校体育連盟が実施する諸事業について必要な経費を助成する。

4) 若葉カップ全国小学生バドミントン大会開催支援(実行委員会事務局)

ポスト京都国体の位置づけで毎年開催している大会の更なる発展のために、大会実行委員会の事務局を協会内に置き、開催支援する。

- ・第40回記念全国大会(7月25日～7月28日)及び都道府県予選大会
- ・主催者、後援・協賛団体等との連絡調整
- ・都道府県及び参加チームとの連絡調整
- ・大会運営及び実行委員会、企画式典部会、競技部会、記念事業検討部会の設置運営

2. 生涯スポーツの普及事業

1) 第60回長岡京市民大運動会開催(受託事業)

スポーツや運動をする機会が少ない人たちへのきっかけづくりと地域コミュニティをより深めることを目的に、長岡京市の委託を受けて、校区総合型地域スポーツクラブ及び校区社会体育振興会(総合型クラブ創設まで)を中心にしながら、各自治会等の協力を得て開催する。

- ・メイン会場：長岡第七小学校
- ・音頭保存会の活用

2) スポーツボランティア等育成推進事業

スポーツへの多様な関わり方を推進するため、「支える」という視点からのスポーツの楽しさに触れ、自主的な活動を継続できる機会を提供し、地域に定着する環境整備ならびにスポーツ事業に必要な不可欠な人材の発掘と育成を目的に実施する。

- (1) スポーツボランティア制度の普及定着
- (2) サポーター等受入れの拠点づくり
- (3) サポーター等を活用した機運醸成事業(体験活動)やネットワークづくり

- (4) 西山公園体育館トレーニングルームにおける安全普及員事業
- (5) 若葉カップならびにロードレースにおける運営サポート

3) クラブづくりを目的としたスポーツ教室開催

スポーツや運動をする機会が少ない子どもたちや市民へのきっかけづくり、終了後は継続して活動できるクラブ創りを目的に開催する。

- (1) ファミリーウインタースポーツ教室（スキー&スノーボード）
- (2) ちびっこ相撲教室

4) 市民スポーツフェスティバル開催(受託事業)

スポーツや運動をする機会が少ない人たちへのきっかけづくりを目的に長岡京市の委託を受けて開催する。

- (1) 健康促進事業
- (2) オリンピック種目ならびにニュースポーツ体験教室
- (3) 女性スポーツ交流会
- (4) 総合型クラブフェスティバル(8校区での開催)

5) スポーツ交流会開催

友好姉妹都市「静岡県伊豆の国市」をはじめとする地域とスポーツを通じた相互交流を行い、友好親善とスポーツの推進を図ることを目的に開催する。

- (1) 伊豆の国市とのスポーツ交流(受入)

6) 啓発広報事業

法人運営や事業報告・決算等の情報公開をはじめ、各種事業やイベントなどの情報を公開し広く市民がスポーツ活動に気軽に参加できるよう啓発広報に努める。

- ・ 広報誌（スポーツ協会だより）の発行(年4回以上)
- ・ ホームページによる情報公開と情報提供(随時更新)
- ・ デジタルサイネージによる情報提供(随時更新)
- ・ SNS を活用した情報発信(随時更新)

7) 長岡京市小学校区地域スポーツ振興団体活動支援

各小学校区における地域スポーツの普及振興を図るため、校区総合型地域スポーツクラブや校区社会体育振興会が実施する諸事業について必要な経費を支援する。

- ・ スポーツを楽しむ日(スポーツ教室・スポーツデー)の開催
- ・ 総合型地域スポーツクラブ創設への取り組み(未設立校区)

8) 長岡京市総合型地域スポーツクラブ協議会(S C長岡京ネット)支援

生涯スポーツ社会の実現を目指すために、協会内に長岡京市総合型地域スポーツクラブ協議会の事務局を置き、実施する諸事業について必要な経費を支援する。

- (1) 役員研修会の開催
- (2) 情報交換会(クラブ間の情報交換と交流)
- (3) 総合型地域スポーツクラブ創設及び育成支援

- (4) 京都府等の研修会・講習会等への参加派遣
- (5) 長岡京ギネスの充実
- (6) おとくにクラブ(開放型地域クラブ)との連携

9)長岡京女性スポーツ連絡会支援

異種目の女性スポーツ関係者で構成する長岡京女性スポーツ連絡会が行う諸事業について必要な経費を支援する。気軽にスポーツに参加できる機会づくりや、お互いに協力・連携しながら様々な事業を女性の視点で企画立案することによって、女性スポーツリーダーの養成等を目指す。

- ・女性スポーツリーダーの育成活動
- ・スポーツボランティア活動及び緑のサポーター制度を活用した活動
- ・市民スポーツフェスティバル／女性交流会の企画開催
- ・他団体との共催による企画開催

10)日本ファミリーバドミントン協会支援

長岡京市で考案されたファミリーバドミントンを全国的に普及促進するため、協会内に日本協会事務局を置き、更なる発展を支援する。

- ・大会支援(全国大会(中央・西日本・東日本)、地方大会)
- ・審判員養成支援(3種・2種・1種公認審判員、各種更新講習)
- ・会員管理(協会・チーム登録、審判員・正会員登録)
- ・国内外への普及

3. 競技スポーツの振興事業

1)第43回長岡京ガラシャロードレースの開催

日頃の練習の成果を発揮する場として、誰もが気軽にみんなと一緒に走れる機会を提供し、市民の健康・体力づくりを目的に開催する。また、地元企業の協賛をはじめ、商工会との連携を図った地域ブランド力の向上を目指す。

- ・ガラシャウィークに合わせた期間での開催
- ・参加者拡大へ向けた部門の改革と充実

2)第47回京都府民総合体育大会事業

日頃の練習の成果を発揮する場として、誰もが気軽に参加できる機会づくりとして開催するほか、市町村対抗競技では全種目に出場し、上位入賞を目指す。

- (1) 種目別長岡京市大会開催
- (2) 種目別長岡京市選手強化事業開催
- (3) 長岡京市選手団壮行会開催
- (4) 市町村対抗競技及び市町村交流種目大会選手派遣
- (5) マスターズ大会への選手派遣調整

3)種目別ジュニア選手強化事業

ジュニア層の強化練習等を支援し、更なる競技力向上を目指すために必要な経費を支援する。

- ・種目別ジュニア選手強化事業(バドミントン・テニス)

4)長岡京市スポーツ団体連合会支援(事務局)

競技種目団体が実施する諸事業について必要な経費を支援し、スポーツ愛好者の拡大を目指す。

- (1) 中央事業支援
 - ・役員研修会開催
 - ・京都府民総合体育大会長岡京市報告会開催
 - ・公認スポーツ指導者登録紹介事業(スポーツボランティア制度への参画)
- (2) 種目団体活動支援
 - ・種目団体独自事業開催(スポーツ教室・審判講習会・競技力向上)
 - ・種目別市長杯争奪大会開催

4. スポーツ施設の整備充実事業

1)指定管理による西山公園体育館の管理運営及び利用促進事業

- (1) 予約管理、施設維持管理、利用率及び利用者数等の向上
 - ・長岡京市公共施設予約システムによる管理運営
 - ・自衛消防訓練の実施(年2回)
 - ・グリーンカーテン設置(環境問題への取り組み)
 - ・敷地内禁煙への取り組み
 - ・京都府立向日ヶ丘支援学校など地域団体との連携した管理運営
- (2) 有効利用及び利用者サービス向上等に関する調査研究
 - ・利用者満足度調査の実施と分析、改善
 - ・安価料金コピー機設置サービス
- (3) 利用促進事業
 - ・個人開放デー(原則月1回)
 - ・みんなのスポーツデー(5月4日・10月14日)
 - ・スクール事業(健康トレーニング、ヨガ教室)
 - ・トレーニング室活用事業(利用説明会、個別相談会など)
- (4) その他(情報提供、占用使用許可、スポーツ用具の無償貸与)
 - ・デジタルサイネージによる各種教室紹介

2)指定管理による長岡京市立スポーツセンターの管理運営及び利用促進事業

- (1) 予約管理、施設維持管理、利用率及び利用数等の向上
 - ・長岡京市公共施設予約システムによる管理運営
 - ・自衛消防訓練の実施(年1回)
 - ・グリーンカーテン設置(環境問題への取り組み)
- (2) 有効利用及び利用者サービス向上等に関する調査研究
 - ・利用者満足度調査の実施と分析、改善
 - ・平日昼間グラウンド半面利用の促進
 - ・テニスコート個人利用の促進
- (3) 利用促進事業
 - ・個人開放デー(原則月1回)
 - ・みんなのスポーツデー(5月6日・10月20日)

- ・スクール事業(キッズ及び小学生テニス教室)
- (4) その他(情報提供、占有使用許可)
 - ・デジタルサイネージによる案内及び紹介

5. その他、目的を達成するために必要な事業

1) 機関管理に関すること

- (1) 評議員会(定時と臨時)
- (2) 理事会(3ヶ月毎)
- (3) 各種委員会(必要に応じて開催)
 - ・子どもスポーツ委員会
 - ・生涯スポーツ委員会
 - ・競技スポーツ委員会
 - ・財務等調査委員会(助成事業検討委員会)
 - ・未来のまちづくり構想特別委員会
- (4) 役員関係者懇談会(年2回以上)

2) 財務管理等に関すること

- (1) 独自財源の確保
 - ・賛助会員募集による財源確保(寄附金制度の活用)
 - ・収益事業に関する財源確保(自動販売機設置・物品販売など)
- (2) 補助金及び委託金の有効活用
- (3) 損益計算ベースの予算編成
 - ・事業別予算管理
- (4) 公益法人会計基準に則した会計管理
 - ・予算統制、コスト管理、資金調達、資産管理

3) 役員等人事管理に関すること

- (1) 長岡京市等の関係機関・団体等への協力及び役員派遣
 - ・長岡京市スポーツ推進審議会
 - ・長岡京市総合計画審議会
 - ・長岡京市社会教育委員会議
 - ・長岡京市人権啓発推進協議会
 - ・部落解放・人権政策確立要求長岡京市実行委員会
 - ・長岡京市地域健康福祉推進委員会
 - ・長岡京ガラシャ祭実行委員会
 - ・長岡京市放課後子ども教室
 - ・公益財団法人長岡京市緑の協会
 - ・若葉カップ全国小学生バドミントン大会実行委員会
- (2) 京都府等の関係機関・団体等への協力及び役員派遣
 - ・公益財団法人京都府スポーツ協会及び乙訓地区体育協会担当者連絡会
 - ・京都府広域スポーツセンター
 - ・日本ファミリーバドミントン協会

4) 情報管理等に関すること

- (1) 京都地方法務局への変更登記等
- (2) 京都府(行政庁)及び長岡京市関係機関への各種申請・届出
- (3) 各種スポーツ賞等の推薦
- (4) 情報公開と個人情報保護

5) その他法人の運営に関すること

- (1) 長岡京市スポーツ施設の指定管理者への対応
- (2) スポーツ団体ガバナンスコードに関する対応
- (3) バドミントンホームタウンへの参画協力
- (4) 法人設立 40 周年記念事業に向けた検討